

蔵所写真工芸ニュース No.9

■我が社のインクジェット機

UVインクジェット機が我が社に導入されて約2年半。私が担当となり、特に最初の頃は傷や汚れが付かないようにと常に緊張しながら大事にしていました。毎日拭き掃除をしながら使っていると、次第に愛着が湧いてきて、機械の融通の利かない機能すら可愛く思えることもあります。最近、作業性や品質レベル等を向上する為、社内に出たアイデアやお客様から頂いた情報を元に改造（というほど大層ではないけど）されつつあります。カバーを外してしまったり、紫外線漏れ防止の手作り衝立を両面テープで貼り付けたり…。何となく姿が購入時と変わっていくことが寂しい気もしましたが、これから先、常にお客様のニーズにスムーズに対応していく為、常に考え、使いやすく改良していく事が必要と感じます。良い仕事が出来、良い商品が安定して生産されるようになるにつれ、どんどん原型をとどめなくなっていくかもしれません。

でも、考え、工夫をし続けた果ての姿なら、今よりもっと可愛く思えるかもしれないなぁと思う今日この頃です。

(佐藤)



■最近気になったこと

コンビニエンスストアで缶ビール等のアルコール類を買うと、年齢確認のために『20歳代』『30歳代以上』と書いた紙を指差しさせられる。

この前は、どう見ても90歳位にしか見えないおじいさんにも年齢確認をしていた。

そもそも何の為にそんなことをしているのか？

未成年に販売しない事が目的なら、若い人だけに確認すればよい。『20歳代』『30歳代以上』と分ける事の意味もよく分からない。

どうせなら『このあと飲酒運転をする予定』とか『私は酒乱です』とかを確認した方が意味がある。

最近は家の近所のローソンでも同様の確認作業が必要になってしまった。

店員さんも指示されたマニュアル通りにやってるだけなので、文句はいませんが・・・

先日、娘（2歳）と2人でファミリーレストランに行き、私は『～ハンバーグ』、娘が『お子さまランチ』を注文。

商品を運んできたお姉さんが『～ハンバーグのお客様！』と聞いてきたので私が手を挙げ、次に『お子さまランチのお客様！』と聞いてきた・・・。

親子二人のどっちが『お子さまランチ』を食べるか考えたら分かるやろ！とつっこみたくなりました。

マニュアル通りに仕事をする事も大事ですが、『何のためにそうするのか』を考えながら仕事をしなくてはいけない！と言うことを実感しました。(吉村)

■営業品目

DTP(版下作成、分版作業、デザイン) 製版用フィルム出力 平板インクジェット出力
その他 各種インクジェット出力 カッティングシート 各種印刷(シルクスクリーン印刷、オフセット印刷等)
金属エッチング アルマイト染色 等

有限会社 蔵所写真工芸 tel 06-6952-4443 fax 06-6958-2682
email kurasho@osaka.email.ne.jp 〒535-0022 大阪市旭区新森5-8-25

■夏の読書感想文

「マネジメント」あるいは整理整頓



最近ドラッカーの「マネジメント」を読みました。

自分の立場でこの年齢になるまで読まなかったのは不徳の致すところであり、また今の私では理解できない部分も多々ありましたが、これはその感想文です。

この本はある意味、社会における大小様々な組織や個人の存在目的とその関係性についてとことんまで整理整頓したものだと思います。そしてその整理整頓が十分になされれば、成果を得るという目的の為にどんな行動が必要か自ずと見えてくるということではないでしょうか。この全体の整理整頓の対極にあるのが部分の理解だと思います。

人の健康に例えて言うならば、ドラッカー流では、「そもそも健康とは何か」からはじまるので、人間の肉体と精神、ひいてはその社会的存在意義まで議論が広がり、それぞれの要素とそれらの関係性を整理整頓し、その作業の後にはじめて健康という成果を得るためにはこう言った考え方や行動が必要であるという方法で議論が進められると思います。ドラッカー流で行けば、規則正しい生活、ワークライフバランス、適度な運動、地域コミュニティへの参加といった常識的な結論が並ぶことになるでしょう。そしてこの対極にあるのが、「何々健康法」といった類のものだと思います。これらは少々荒っぽく言えば、人間の身体の働きのある特定の部分のみの理解に基づくもので、その影響が色々な部分に派生して、結果全体として健康になるという考え方でしょうか。ただしドラッカー流であっても、その一部を担う方法として「何々健康法」ということを取り入れるという選択があるかもしれません。しかし「何々健康法」だけではちょっと心もとないと私は思うのです。こんな事を考えさせられた一冊でした。(蔵所)